

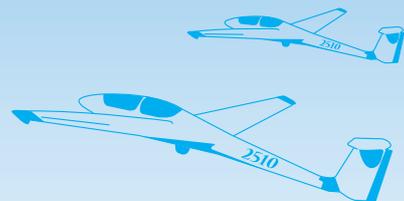
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

2



CONTENTS

- 新年度活動計画の策定にあたって☒……………1
- 世界理解月間にあたって☒……………2
- 世界理解月間に因んで☒……………3
- ガバナー補佐レポート☒……………4～6
- 第3グループIM報告☒……………7
- ローターアクト事業報告☒……………8
- クラブ事業紹介☒……………9～10
- 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます☒……………11
- ローター財団へのご協力に感謝申し上げます
例会日・例会時間・例会場の変更等について……………12
- 2010-11年度RIテーマ紹介……………13
- 新入会員の紹介・文献資料室だより
文庫通信・ロータリーレート☒……………14
- 地区カレンダー(2月・3月)☒……………15
- 出席率・会員数☒……………16

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



新年度活動計画の策定にあたって

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

当地区佐々木正丞ガバナーエレクトは、前後を加えると10日余をかけてアメリカのサンディエゴにおける国際協議会に出席をし、RI会長エレクトに会い、RI会長のロータリーにかける思い、2010～2011年度の会長方針やターゲット、各重要課題や懸案事項を確認をし、現況の認識と問題点の抽出がなされ、各テーマについて激しい討論を行い、問題意識を新たに加えながら先日帰国された筈であります。これから、ご自身の思いの中にこれを整理して地区の方針が作られ、間もなくわれわれに知らされたり、呼びかけられてくる事になると推測をしています。

クラブ会長エレクトは地域に根ざしたこれまでの奉仕の活動をベースに、クラブ会長エレクトのロータリーへの思いと奉仕理念の提唱を盛り込み、国際ロータリーと地区のガバナーエレクトからの方針を待って、クラブの奉仕活動の計画を仕上げるのが地区内クラブの多くと公式訪問を終え感じたことでもあります。

会長エレクトを含むクラブのリーダーは、自らのクラブが効果的なクラブになるように工夫や知恵を駆使して計画に取り組む、今がその時期かと推察しています。その効果的な要素の先ず第1は、何よりも現会員の維持であり、会員を増強することです。第2は、地域において奉仕の実践とその評価、クラブが地域に存在する理由の明確さであり、会員の参加がその基本になり魅力となります。第3は、国際ロータリーの名の下に世界と関わる魅力と奉仕の責務を感じ実践することです。そして第4は、ロータリーの継続性と活動の実践のためにリーダーの養成であり、研修であります。これらの4つの要素を背景に効果的なクラブ作りを目指し、新年度の計画をお立てになりますように期待をいたしております。

当地区の多くのそれぞれのクラブは、まことに一つ一つが味わいのある運営をしており、われわれのクラブが一番と誇りを持っておられるのは、とても大切な事でもあります。この誇りがステータスとなり、更なる発展へのエネルギーである事は論を待ちません。しかし他のクラブもまた一番と、異なった手法や、テーマを見つけ、よって効果的な奉仕の成果を上げていることにも気がつかねばなりません。

これから開催されるクラブ対象のPETS、地区協議会、各セミナーなどではクラブのリーダーにとって情報の収集、意見交換などの場として積極的に効果的な参加になるようにと期待をしております。



世界理解月間にあたって

地区国際奉仕委員会

委員長 **中村 真規**

Masaki Nakamura
(札幌西RC)

2月是世界理解月間です。世界中のロータリアンが国際奉仕プロジェクトについて考える時だと言われていています。

ロータリー章典には、ロータリアンや一般の人々の間に理解と善意を育むことが、ロータリーの国際奉仕が果たすべき仕事であり、クラブは2月の世界理解月間に世界平和に不可欠な理解と親善を強調したクラブ・プログラムと活動を実施するようにと述べられております。また、1905年2月23日は、ポール・ハリス他3人が、シカゴで初めて会合を開いた日であり、ロータリーの創立記念日にあたります。ロータリーではこの日を世界理解と平和の日とし、国際理解と友情と平和にむかって献身するよう要請されています。

世界理解月間はロータリアンが他の国々のクラブと関係を築き、共にプロジェクトを立ち上げる最良の機会です。多くのロータリアンは国際プロジェクトに参加して、初めてロータリーの意味を本当に理解することができたといっています。その経験が親睦、奉仕に新たな広がりをもたらします。ロータリーの青少年交換学生、国際親善奨学生、GSE、米山奨学生等の活動は、グローバルな相互理解に貢献しており、世界社会奉仕(WCS)プログラムは、援助を必要とする国々と、労力や資金を喜んで提供する人々とを結びつけています。また、ロータリーセンターは、国際関係や紛争の調停・解決について研究する奨学生のために2年間の修士課程プログラムを提供しています。国際ロータリーでは、国際的な政治問題に対する団体声明を出すことは禁じられていますが、平和と正義の原則に基づき国際的難問を平和交渉によって解決するために、自己の影響力を行使することはすすめられているのです。このようにロータリーにおいては世界平和実現のためのいろいろな活動が行われています。そして、2510地区においても、精力的なWCS活動が行われているのはもちろんのこと、各クラブでも青少年交換、GSE、インター、ローターアクト等の奉仕活動が積極的に行われていることは大変心強いことです。しかし、地区の国際奉仕委員会の委員長として、反省大なるは、皆さんが積極的に活動している各クラブの青少年交換、GSE、インター、ローターアクト等の活動が地区の国際奉仕の枠と若干異なっているため、地区国際奉仕との連携が十分取れていないことがあります。地区内の各クラブが積極的に活動している青少年交換やGSEの事例をもっと国際奉仕活動として、今後、取り上げられるように連携を密にしなければなりません。

ポール・ハリスは「地上に平和を、すべての人に善意を」といっています。世界理解月間にあためて、国際奉仕、世界平和を考えてみるのが、そして、ロータリアンのみならず、一般の人にもロータリーの心を知っていただくことが、世界の平和につながることを期待します。



世界理解月間に因んで

地区世界社会奉仕委員会

委員長 **出村 知佳子**

Chikako Demura
(札幌北RC)

2月是世界理解月間ということで、委員長名に世界がついた委員会の委員長として投稿させて頂きたく思います。

最近では本当に外国が身近になりました。私共も事業に関する海外とのやりとりをメールで日々行い、時には外国の相手から携帯に電話が来たり、更に最近ではスカイプという大変便利なものが出来、数十円でテレビ電話ができてしまいます。おかげで私たちのような海外とやりとりをする委員会は数段事業をやすくなっているのは確かです。以前はFAXや手紙のエアメールでのやりとり、苦勞も多かったものと思います。

私共は委員会活動を通して、事業の検証などに訪れる機会にも恵まれ、タイ、インドネシアなどの国にも訪問をしてきました。そこで感じることは、地元の方やロータリアンのホスピタリティーの高さです。豪華な食事や場所などよりも、気持ちで一生懸命にもてなしをしてくれます。もてなされることにあまり慣れていない私達は、それを多少窮屈に感じたり、御返しをしなくてはとったりすることも多くあります。ですが、もてなしを受けるというのも国際マナーであり、返礼よりも相手が喜んでくれることが相手にとって一番嬉しいことです。一緒になって喜び、楽しい時を過ごすことは、何よりもお互いを理解することができます。またアジアの国に行きますと、日本のニュースが数多く伝えられています。多くのアジアの国の方々にとって、日本という国はあこがれの国でした。礼儀正しく、勤勉で、安全で、経済大国。日本を目標にという言葉も何度も聞きました。時代は変わり、これからの日本がどうなっていくのかを人々は見ているのだと感じる今日この頃です。

それはロータリーの世界でも同じではないでしょうか。これからの日本のロータリーの進む道を世界のロータリアンは注目をしているのではないかと感じます。日本のロータリーは諸外国においても、多くの奉仕活動をしてきました。それが今後、更により現地の方たちと理解しあい、交流しわかち合いながら進めていくことが必要になっていくことを感じます。

交流を通し、相手を理解し、違いを理解し、お互いに言い合える関係作りをすること……。簡単でわかりきったことのようにですが、ロータリーの奉仕活動を実施するにもやはりここに尽きるということ、活動の中で教えて頂きました。

これを、これからも地区の皆様と共に楽しんでいきたいと改めて感じるこの「世界理解月間」です。

2010年1月8日より渡邊ガバナーと共にタイ、第3340地区を検証ツアーにて訪問しています。レポートはまた後日報告させて頂きませんが、その交流の様子を写真にて紹介いたします。





ガバナー補佐レポート

第1グループの現状報告

第2510地区 第1グループ

ガバナー補佐 **田中公一**

Kohichi Tanaka
(留萌RC)

8月下旬から9月にかけて4クラブの訪問をし、地区大会への協力と、「そらぷちキッズキャンプ」への支援をお願いいたしました。各クラブとも積極的で感謝いたしております。小平RCは鬼鹿町と小平町で約15kmも離れており、11名の会員中4名が鬼鹿地区に住んでおり、吹雪の例会出席は命がけです。妹背牛RCは、今回初めて訪問させていただきました。例会日が水曜日で留萌RCと同じなので、ガバナー補佐でなければ、まず訪問する機会はなかったと思います。会員数は少なくとも、地区大会には小平RC同様、全員登録していただきました。また夏でも使用できるカーリング場があり、妹背牛RCも大会を主催しております。長田会長が役員をされていることから、将来オリンピック選手が妹背牛町から育つ可能性は充分にあります。深川RCは相撲にたとえると東の正横綱で、第1グループの中では、一番長い歴史と伝統を持つクラブです。どのクラブも悩みは同じで平均年齢が毎年1歳ずつ増えるわけですから会員増強が急務です。訪問時のプログラムは、プレーパークについての記録映像が上映されておりました。また活動計画書には1年間のプログラムが決まっていたことにも感心いたしました。西の正横綱は羽幌RCで、創立30周年を迎えたばかりの一番若いクラブです。グループ内で一番勢いがあり訪問しても気が楽でした。特に3回目の12月12日の夜間例会では、会員夫人が同じテーブルで仲良く談笑しており、羽幌RCの謎が一つ解けました。ガバナー補佐の経験を、留萌RCに役立てる事が出来れば、訪問させていただいた4クラブのご恩に報いることが出来ると思います。今年度、渡邊ガバナーのご指導のもと第1グループを担当させていただき、地区重点目標に「そらぷちキッズキャンプ」を掲げていただきました。丸加高原に近い各クラブは、目に見えるかたちでの奉仕が可能です。深川RCには医療関係者が多く、滝川市医師会の強力なバックアップもありますが、緊急時にはお手伝いが充分可能と思います。「そらぷちキッズキャンプ」に最も近い妹背牛RCにはカーリングを子ども達に体験してもらえます。またプレ・キャンプですが、2年後に軌道に乗った時には、リピーターの子供達には是非カーリングも体験して欲しいのです。滝川に無いものが『日本海』です。羽幌、小平、留萌RCが協力して、来年8月のサマーキャンプでは難病と戦っている子ども達のために、生きた魚を海水と一緒に運んで丸加高原で釣りを楽しんでもらいます。目に見える奉仕の実現がきっと会員増強に結びつくこと確信しております。この計画は年度内ではありませんので、實藤次年度ガバナー補佐(羽幌RC)さんに引き継ぎいたします。



ガバナー補佐レポート

回 想

第2510地区 第8グループ

ガバナー補佐 山田博継

Hirotsugu Yamada
(三石RC)

平成20年10月16日、2008～2009年度第2510地区第8グループのIMを、当時の園ガバナー補佐(浦河RC)のリーダーにより開催された時、次期ガバナー補佐として紹介を受けた折からその任務の重さを感じ始め、同年12月13日札幌に於て開催された次期地区ガバナー補佐会議に出席し緊張の中に議題が進行し、塚原パストガバナーの「ガバナー補佐就任の前に」という講演を聴くにつれ、段々とその責務の重さを尚一層強く痛感したことです。

しかし、次に講演された丸山パストガバナーが、ロータリアンであっても本当にロータリーの事を知っているのは20パーセント程である、と言われ無知の私にとって少し心が和らいたところでした。

時は経ち、クラブ会長・幹事研修会、そして地区協議会(研修会)が行われ、やがて、第8グループの渡邊ガバナー公式訪問の時となり、先ず私の所属する三石RC(8月3日)から始まり様似RC(8月4日)、浦河RC(8月4日)、静内RC(8月5日)、えりもRC(8月6日)と順次ガバナーに同行させて戴き、どのクラブも好意と友情とをもって温かく迎えて下さり、各クラブが方針及び活動計画に基づき熱心に発表されました。

ガバナーの重点目標である一番目の方針、「そらぶちキッズキャンプ」を支援しようということについて、ガバナーの明瞭にして心打たれる話を重ね重ね聞くにつれて、難病と闘い、ややもすれば短い命をもって人生を終わろうとする子ども達が、今日、一日一日を明るく楽しく一生懸命になって過ごす事の出来る施設を支援することが、ロータリアンであり私共大人の思いやりではないかと自ら心痛したことです。

私のクラブですが、社会奉仕委員長もこの方針に強く心を引かれ、先般門別の道営競馬参観するに当たり、貯金箱を用意し馬券が的中した人はその配当の一部を「そらぶちキッズキャンプ」支援にと醸出したのを手始めに、以来随時ボックスに入れる様にしております。

次に「WCS」の支援ですが、2年前に小さなクラブでも容易に支援することを知り、三石RCは地区の活動に過去2年参画し、今年も少額であるが支援したところです。その検証に行く縁を頂き、最初はタイ国のチェンマイでの「セキ」工事、ノンカイの「浄水器」設置の検証であり、2回目はインドネシア国のジョグジャカルタの孤児院への「マット贈呈」の視察、ジャカルタの児童館へ「文房具」の贈呈、タイ国チェンマイの「セキ工事の体験」をして来ました。改めて感じた事は、それぞれの地での子ども達との出会いで、素直で明るく生きている印象を持った事と、各RCの皆さんも一生懸命になって奉仕活動を行っている様子を伺うと共に、私達にも親切に対応して頂いた事を感謝しております。

今後共、渡邊ガバナーを始め地区並びにグループのロータリアンの皆様のご指導とご協力を懇願申し上げます。

ガバナー補佐レポート

上半期を終えて

第2510地区 第7グループ

ガバナー補佐 **加藤 寛治**

Kanji Katoh
(北広島RC)



ガバナー公式訪問を含め3度のクラブ訪問、そして9月の会長・幹事会、引き続き地区大会と日々の仕事に加え上半期のスケジュールをなんとかこなす事が出来ました。最近になってようやく余裕を持ってガバナー補佐の仕事が出来るようになってきたというのが現在の心境です。

第1回目のクラブ訪問の際には渡邊ガバナー方針、考え方が上手く伝えることができたかは自信が持てませんが、その中の重点目標である「そらぷちキッズキャンプ」への支援についてはご理解が得られたのではないかと思います。ただ今後どのような形で協力して頂けるか、課題も残されており、各クラブにはより一層のご理解とご協力を頂けるよう努力したいと思っております。会員増強については、1クラブ純増1名以上の目標をあげられましたが、4名増強したクラブもあり、12月現在、第7グループ全体として5名の増加で推移しております。09～10年度内には10名程度の会員増強が出来るものと思っております。

各クラブの委員会活動ですが、社会奉仕委員会については各クラブとも新規事業を計画するというよりは、例年行われている事業を継続し、より充実した内容にしながら地域社会の貢献に努めていくという傾向にあります。青少年交換委員会については、グループ内で2名程度の交換留学生を受け入れ、派遣を行っております。第7グループとしては今まで交換留学生の派遣を40名近く実施して参りましたが、最近では一部歓迎してくれる学校もありますが、公立高校の留学生受け入れがかなり難しくなっております。従って今後の交換留学生の派遣に関しては先細りになってしまうのではないかと危惧しております。おそらく他グループも同様ではないかと思います。青少年国際交流の更なる発展の為に地区として公立高校に留学生受け入れの要請を働きかけて頂くよう望みます。

この半年間、各クラブの会長、幹事はじめ会員の皆様とも親しくお付き合いをさせて頂く様になり、これからは気楽な気持ちでクラブ訪問が出来そうです。しかし、ガバナー補佐にとって最大の行事であるIMが5月に予定されています。今年度は「CLPの取り組みについて」をテーマとし各クラブより今後のクラブ運営について発表して頂き、その後討論形式で進行しようと考えております。第7グループは3クラブが会員数20名以下で、これからのクラブ運営に不安を感じていると思います。他クラブに於いても会員の高齢化、会員数の伸び悩み、クラブ運営のあり方など問題点を抱えているのではないのでしょうか。このIMによりクラブの活性化、発展に繋がればと思っております。

残り6ヶ月の任期となりましたが、各クラブがより一層緊密な関係を構築し、協力しあえるようなグループにしていきたいと思っております。



第3グループIM報告

第2510地区 第3グループ

ガバナー補佐 **嵯峨 義輝**

Yoshiteru Saga
(岩見沢RC)

国際ロータリー第2510地区第3グループIMは、2009年11月28日(土)午後1時30分より渡辺孝一岩見沢市長、渡邊恭久ガバナー、佐々木正丞ガバナーエレクト、地区内ガバナー補佐、神部地区代表幹事にご臨席いただき、岩見沢RCをホストクラブとして、233名の出席を得て、ホテルサンプラザ(岩見沢市)において開催されました。

厳しい経済、社会環境の下、今地域に求められているのは我々ロータリークラブの、又、ロータリアンの“熱さ”ではないのかというIM運営委員会での時代認識を受け「明るい未来のために、熱き思いを！」をテーマとして話し合われました。

基調講演は、元参議院議員で野球解説者の江本孟紀氏に「江本孟紀の熱き語らい」と題して講演いただきました。人生には不運に見舞われることもあること、蛙が大海に出て、世の中にはすごい人がいっぱい居ることを知ったこと、なりたいという強い思いを持ち続ける重要性、人との出会いが人生を変える等々、示唆に富む話を熱く語っていただきました。

その後、8クラブ各会長よりクラブ運営にかける熱き思い、地域への取り組みの思いをそれぞれ語っていただきました。厳しい時代に大きく会員増強を果たしたことを報告した会長、メーキャップの効用を説き、メーキャップツアー実施の事例発表などもあり、各会長ともクラブ運営への思いを、熱く報告いたしました。又、第3グループは、出席率の高いクラブが多く、ガバナーから講評でお褒めをいただきました。地域への取り組みでも、どのクラブも特色のある事業が多々あり、首長が例会の場に赴き感謝状を交付し謝意を表すなど、地域が必要としている事業の発表がありました。交流会には、基調講演者の江本孟紀氏も参加していただき、ロータリアンと気軽に記念撮影に応じるなど、非常に和気あいあいとした雰囲気の中で情報交換が行われたことを付記し報告と致します。





ローターアクト 事業報告

E~CO+(エコプラス)

ローターアクト

地区代表 **安藤 由香里**

Yukari Ando
(札幌南RAC)

今年度のローターアクトの地区ターゲットは「ECO+」です。この地区ターゲットに決めた理由は、地区としてみんなで一つのことをやりたかったというのが一番の理由でした。手間やお金がかかると続けることができないのでひとりひとりが日常的にできることを考え、地区として初の試みとして「エコキャップ活動」をやろうと思いました。この地区ターゲットにはいろんな意味が込められています。

その文字からE→ENJOY・C→COMMUNICATION。みんなECO(いい子)で楽しく、親睦をはかり、エコ(ECO)活動しよう。そして、エコ活動を通して地区全体の活動も活発になり、みんなの団結が深まりますようにという願いを込めました。+(プラス)は、会員増強の意味が込められています。

今年度も半分が過ぎたところで、エコキャップ活動の報告をさせていただきます。

今まで集めたペットボトルのキャップの数は88,280個で、ポリオワクチンに換算すると110.4人分になります。800個で1人分のワクチンになります。まだまだたくさん集めていますので、ペットボトルのキャップを頂ける方いらっしゃいましたらご一報頂けたら幸いです。よろしくお願いたします。

ペットボトルのキャップも分ければ資源となり、リサイクルにもなります。一人ではできませんがみんなで協力して集めていきたいと思います。



集めたペットボトルのキャップ





クラブ事業紹介

親子暗唱大会のご報告

札幌幌南RC社会奉仕委員会

委員長 **和田 壬三**

Jinzo Wada

1. 私は職業柄、離婚事件やモンスタークレーマー事件を扱うことが多くその主たる原因が感情表現の不適切さに由来すると感じていたし、外国の政治家に比し我国の政治家の表現能力の乏しさも顕著である。これは我国の教育が寺子屋教育の延長で表現能力の養成を怠った結果であるから表現能力の養成に役に立つ事業を、それに加えて家庭奉仕にも役立つ事業を行おうと、新世代委員会(大作佳範委員長)と共同で、名文を親子や児童に暗唱、発表して貰い優秀な子を表彰する機会を与える親子暗唱大会を札幌市の教育関係者や音声教育専門家の協力を得て、前年度から準備を始めて本年度に実施しました。
2. 2月初め、豊平小学校でプレ大会を実施し、アンケートの結果、参加児童全員から短時間で暗唱出来たこと、楽しかった、再度参加したいとの感想を得、又、鑑賞者からも感動の声を聞き、成功を確信し、更に、当事業は、当クラブ45周年記念事業にも採用され、針谷実行委員長、柳幹事、海野、田澤正副記念事業委員長などの強力な支援の下実行することが出来た。
3. 対象地域(豊平区、清田区)内で交通の便も良い豊平小学校の体育館をお借りすることにしたが、結果としては、レンタルの椅子代だけの出費で済みました。
チラシは、柳幹事のアイデアで1万5千枚を、実施要領は小山東山小校長の協力で200枚作成して、夏休み前に全会員が関係する学校に宣伝し、対象の清田区、豊平区の校長会へ羽部会長、中川幹事が向うへお願いし、対象区内の小学生全員に一枚ずつ渡すことが出来た。
その結果、独唱、群読、親子合わせて予定の約50組の参加を得た。
4. 丁度A型インフルエンザが大流行中であり、学校閉鎖や学年閉鎖のため、欠席者が続出。結局31組で実施することになった。
5. 審査は、大牧市教委指導主事、福田北海道国語科教育研究連盟会長、鈴木小学校長会会長、萬崎HTBアナ、当会から私の5名で担当し、事前に審査基準、審査要領を統一し、司会者とは柳幹事が綿密に打ち合わせ、中野社会奉仕副委員長には、子供の氏名を何度も点検して頂くなどの準備をして頂いた。
6. 平成21年10月18日(日)には、ローターアクトを加えて全員参加で会場作り、会場までの案内、審査委員との打ち合わせ、受付、参加者の誘導、報道機関への対応、救護など各班に分けて取り組み何のトラブルもなく無事に終了出来、当日の様子はビデオに収め、最優秀の子らの場面は、平成22年1月16日の45周年記念式典で放映して、各組の受賞者を表彰することにした。
HTB、UHBから取材があり短時間ではあったが、放映された。
地区から、江口ガバナー補佐、阪崎地区社会奉仕委員長のご臨席を頂き最後まで熱心にご鑑賞いただきました。
7. 子供たちや参加者の反応は、4項目のアンケートを実施したところ参加者34名から回答があり、その要点は、①練習開始は1ヶ月以内からが大半②暗唱に要した時間は長文が多かったに拘わらず、2週間以内が大半③発表する自信がついた達成感、親子友人との連帯感を得たなど良かった点を上げる子が多く、緊張したと言う子が若干ただで悪かった点を上げる子は少なかった④暗唱大会に取り組んで楽しかった。達成感や協力の楽しみを得た。再度参加したい。勉強になったなど多くの子供や親から(中には付き添いの先生からの添え書きにより)好意的な感想を得たが、他方で再度参加したいという声にどう応えるかという新たな課題を抱えることになった。



クラブ事業紹介

夢を叶える職業紹介

札幌東RC職業奉仕委員会

委員長 赤 泊 史 昭

Fumiaki Akadomari

札幌東RCは前年50周年を終えて、今年度は次の100周年に向け新しいスタートを切りました。当クラブ荒岡会長は『夢を探し、夢を追い、夢を叶える』出会いを大切に友愛の輪を広めよう！と述べられています。100年に1度という世界経済不況の中で今日ほどロータリーの高い道德水準、職業倫理が語られることはないと思います。今年度の職業奉仕委員会では、このことを踏まえ、会員同士が互いの職業を理解することによって信頼と自らを向上させ、職業奉仕の実践に繋がられるような活動を目指しております。互いの職業を知る手段として直接会話される時を除いてはネームプレート、会員名簿でしょうか。おそらくそれだけで職業の内容を把握することは難しいのでは。仕事の内容が解ればもっと互いに有効活用が出来る部分も生まれてくるかと思えます。クラブの規模にもよりますが、例会で食事しながらの会話程度では仕事の中身を知ることは難しいのではないかと。私たちは毎月1回、例会で『夢を叶える職業紹介』と題して、会員による職業紹介を行っております。第2例会日を職業紹介の日と決め、5～6名の会員による1人3～5分の持ち時間内で自社のアピールをしていただきます。そして紹介終了後に会場からの質問など、意見交換をしております。結果、会員同士が仕事上の取り引きが出来たとの報告も聞いております。また職業紹介の例会にあわせて、毎回ヴァイオリンとピアノの演奏を聴いて、雰囲気盛り上げております。職業紹介と演奏がセットで行われ、会員の楽しみの1つになっております。





米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

滝川 R C	神部 洋史	会員(8回)	12月24日
	川口 義弘	会員(4回)	12月24日
	塩尻 一幸	会員(4回)	12月24日
	鈴木 英也	会員(1回)	12月24日
	高木 敏行	会員(1回)	12月24日
	吉田 正治	会員(13回)	12月24日
岩見沢 R C	中塚 力	会員(3回)	12月25日
	佐藤 紀征	会員(4回)	12月25日
	山本 辰勇	会員(3回)	12月25日
	山根 良隆	会員(1回)	12月25日
栗沢 R C	本田 正一	会員(5回)	12月 2日
札幌西 R C	石丸 修太郎	会員(3回)	12月15日
札幌西北 R C	西岡 憲廣	会員(2回)	12月 3日
札幌東 R C	広瀬 清	会員(6回)	12月25日
札幌真駒内 R C	中原 孝	会員(9回)	12月11日
札幌南 R C	夏井坂 信幸	会員(4回)	12月22日
余市 R C	嘉屋 達雄	会員(1回)	12月 4日
室蘭 R C	吉澤 政彦	会員(1回)	12月11日
室蘭東 R C	金沢 智光	会員(1回)	12月25日
	村木 一夫	会員(4回)	12月25日
函館亀田 R C	宮崎 穰	会員(1回)	12月 7日
七飯 R C	川又 修治	会員(1回)	12月17日
	宮村 拓郎	会員(2回)	12月17日
	上野 一義	会員(8回)	12月17日
	度会 元紹	会員(1回)	12月17日
	伊藤 道雄	会員(5回)	12月 7日
函館セントラル R C	鍋谷 操子	会員(12回)	12月 7日
	菅野 嘉一	会員(2回)	12月28日
苫小牧東 R C	高井 昌機	会員(1回)	12月28日
	伊藤 竹雄	会員(5回)	12月28日

■米山功労クラブ

滝川 R C	26回	12月24日
岩見沢 R C	27回	12月25日
栗沢 R C	5回	12月 2日
札幌手稲 R C	22回	12月25日
室蘭東 R C	6回	12月25日
七飯 R C	4回	12月17日
函館セントラル R C	2回	12月 7日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■メジャードナー

滝川 R C 吉田 正治 会員 12月25日

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深川 R C	林 憲雄	会員(1回)	12月18日
滝川 R C	川口 義弘	会員(2回)	12月25日
	篠島 弘	会員(7回)	12月25日
	鈴木 忠男	会員(4回)	12月25日
栗沢 R C	岩田 隆	会員(1回)	12月18日
札幌手稲 R C	山地 庸夫	会員(1回)	12月25日
札幌南 R C	南 舘全次	会員(3回)	12月11日
長沼 R C	池内 昌之	会員(1回)	12月30日
	辻野 つね子	会員(1回)	12月30日
室蘭 R C	高柳 安昌	会員(1回)	12月 4日
函館セントラル R C	伊藤 道雄	会員(4回)	12月30日
	小泉 護太郎	会員(5回)	12月30日

■ポール・ハリス・フェロー

札幌手稲 R C	阿部 光行	会員	12月25日
札幌東 R C	梅沢 英行	会員	12月30日
余市 R C	川向 基紀	会員	12月 4日
長沼 R C	三輪 崇穂	会員	12月30日

■ベネファクター

函館東 R C 池垣 清信 会員 12月 4日

例会日・例会時間・例会場の変更等について

江別西 R C	2月16日(火)休会
小樽 R C	2月 9日(火)の例会を下記に変更 2月12日(金)小樽地区3クラブ合同例会 12:00～ 場所:グランドパーク小樽
長沼 R C	2月 1日(月)の例会は 1月31日(日)新年家族移動例会のため振替休会 2月15日(月)の例会は2月14日(日)移動例会のため振替休会
室蘭 R C	2月 4日(木)の例会は 2月13日(土)IMのため振替休会 2月11日(木)休会
室蘭東 R C	2月17日(水)の例会を下記に変更 2月 6日(土)第8回あれこれなんでも相談室 場所:室蘭市民会館 2月13日(土)第9グループIM 場所:蓬らい殿
室蘭北 R C	2月16日(火)休会(2月13日第9グループIMの振替休会) 2月23日(火)夜間例会「クラブフォーラム」 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭
白老 R C	2月 9日(火)の例会を下記に変更 2月 6日(土)苫小牧北RC創立40周年記念式典 15:00～ 場所:グランドホテルニュー王子
苫小牧 R C	2月 5日(金)の例会を下記に変更 2月 6日(土)苫小牧北RC創立40周年記念式典
苫小牧北 R C	2月 5日(金)の例会を下記に変更 「苫小牧北RC創立40周年記念式典」 日時:2月 6日(土)式典15:00、祝賀会16:30 会場:グランドホテルニュー王子 グランドホール



2010-11年度RIテーマ

「地域を育み、大陸をつなぐ」 Building Communities -- Bridging Continents



2010年国際協議会にて地区ガバナー・エレクトへ向けて講演するレイ・クリンギンスミスRI会長エレクト。

2010年国際協議会の開会本会議にて、「California, Here I Come」という音楽と共にステージに現れたレイ・クリンギンスミスRI会長エレクトが、2010-11年RIテーマを「地域を育み、大陸をつなぐ」としたことを発表しました。

このテーマを決めるにあたって、RIのこれまでのテーマを振り返った、と会長エレクトは話します。その中でロータリアン以外の人々に訴えかけるテーマがほとんどないことに気づきました。

「そこで私は、“ロータリアン以外の人々にロータリーの目的を説明すること”と“ロータリアンに自分たちの活動の意義を再認識してもらうこと”、この2つの目標を満たす簡潔なテーマを探す決心をいたしました」と会長エレクトは説明します。「ロータリーの現在の使命を表し、私たちが得意とすることに焦点を当て、最終的に次のテーマを選びました。“地域を育み、大陸をつなぐ”」です。

自身の50年にわたるロータリー経験から、地元と海外の地域社会に焦点を当てたいという思いが生じたと言います。例えば、ロータリー財団の国際親善奨学生として1年間南アフリカに留学した経験を持つ会長エレクトは、米国ミズーリ州のユニオンビルという小さな町から海外留学した初めての学生でした。

夕方の講演というテーマ発表のタイミングは、過去の協議会からは異例のことでした。これは進んで変化を受入れようとする会長エレクトの姿勢を反映しています。もはやベスト・プラクティスではなくなった伝統的な慣習を見直し、適切な場合は、新しい伝統を始めるべきであるとガバナー・エレクトに奨励しました。

会長エレクトはまた、国際舞台におけるロータリーの活躍に寄与してきたロータリアンに敬意を表しました。協議会に出席している元RI会長や元役員と会い、ロータリーの歴史との結びつきを深めるようガバナー・エレクトに促しました。

(記事: Donna Polydoros 国際ロータリー・ニュース: 2010年1月18日より抜粋)

新入会員の紹介 (敬称略)



わたなべ りつこ
渡辺 律子(恵庭RC)
★入 会/H21.11.18
★職業分類/葬儀



さくらい みきかず
櫻井 幹員(小樽RC)
★入 会/H21.12.1
★職業分類/総合リゾート



みなみ あきひろ
南 明広(羽幌RC)
★入 会/H22.1.7
★職業分類/一般自動車販売



かさい りきち
葛西 利吉(七飯RC)
★入 会/H22.1.12
★職業分類/木造建築工事

◆文献資料室だより◆

新札幌RCより文献資料室を利用しての感想とご意見をお寄せいただいておりますのでご紹介致します。

当クラブでは、地区の各月間には、そのテーマに基づいて担当委員長による卓話を企画しています。

話だけでなく、ビデオを活用した視覚的なアピールは、会員に理解を広めたり実感してもらうのに非常に効果的だと思います。

但し、ビデオを流すだけで終わるのでは何も成りませんので、自分のクラブとの位置付けや果たすべき役割をしっかりと踏まえた内容になるよう努めています。

新札幌ロータリークラブ
幹 事 有 田 京 史



文庫 通信

(268号)

最近のロータリー情報から

書 名	著者/地区	発行年	ページ
◆「奉仕理念の提唱者アーサー・フレデリック・シュeldon」	田中 毅(D.2580職業奉仕セミナー講演集)	2009	22P ※
◆「職業奉仕における個人と職業の倫理」	深川純一(D.2580職業奉仕セミナー講演集)	2009	19P ※
◆「『ロータリーの心もとめ』より」	海田 司	2009	4P ※
◆「国際ロータリーのビルダー」	塚原房樹(私の"Rotary Notes")	2009	3P ※
◆「井坂孝の説いた職業倫理を踏襲して」	鈴木清次(井坂孝の足跡)	2009	8P ※
◆「職業奉仕に誇りを！！」	村上有司(D.2640月信)	2009	1P ※
◆「職業奉仕について」	原田寛太郎(D.2730月信)	2009	4P ※
◆「ロータリアンは同業者・業界でもっと積極的行動を」	竹中秀夫(D.2680月信)	2009	1P ※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2010年2月のロータリーレート 1ドル90円



地区カレンダー(2月・3月)

2月 世界理解月間		3月 識字率向上月間	
1(月)		1(月)	
2(火)		2(火)	
3(水)		3(水)	
4(木)		4(木)	
5(金)		5(金)	
6(土)	苫小牧北RC創立40周年記念式典(苫小牧)	6(土)	2010-11年度全国会員増強セミナー(横浜)
7(日)		7(日)	
8(月)		8(月)	
9(火)		9(火)	
10(水)		10(水)	
11(木)	建国記念の日	11(木)	
12(金)	小樽南RC創立50周年記念式典及び 第6グループIM(小樽)	12(金)	
13(土)	第9グループIM(室蘭)	13(土)	2010年3月終了米山奨学生歓送会(札幌) 会長エレクト研修セミナー(札幌)
14(日)	三石RC創立40周年記念式典及び 第8グループIM(新ひだか町)	14(日)	会長エレクト研修セミナー(札幌) 地区ロータリー財団セミナー・地区米山セミナー(札幌)
15(月)		15(月)	
16(火)		16(火)	
17(水)		17(水)	
18(木)		18(木)	
19(金)		19(金)	
20(土)		20(土)	
21(日)		21(日)	春分の日
22(月)		22(月)	振替休日
23(火)		23(火)	
24(水)		24(水)	
25(木)		25(木)	
26(金)		26(金)	
27(土)	ガバナー補佐研修セミナー(札幌) 地区チーム研修セミナー(札幌)	27(土)	
		28(日)	
28(日)		29(月)	
		30(火)	
		31(水)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.12.31	増減	内女性	
1	深川	4	32	33	1	2	88.47
	羽幌	4	45	47	2	1	85.35
	妹背牛	3	9	9	0	0	77.78
	小平	4	11	11	0	0	86.36
	留萌	4	41	43	2	1	87.15
	小計		138	143	5	4	85.02
2	赤平	4	29	32	3	1	80.00
	芦別	4	37	38	1	0	83.78
	砂川	3	55	53	-2	0	94.96
	滝川	3	96	96	0	2	79.00
	小計		217	219	2	3	84.44
3	美唄	4	33	33	0	0	94.44
	江別	3	34	33	-1	1	95.09
	江別西	4	30	29	-1	3	93.10
	岩見沢	3	85	86	1	0	92.64
	岩見沢東	4	33	36	3	4	90.33
	栗沢	3	24	23	-1	1	95.70
	栗山	3	27	27	0	2	98.72
	当別	4	31	30	-1	0	90.61
小計		297	297	0	11	93.83	
4	札幌幌	3	102	125	23	0	95.32
	札幌あげぼの	4	13	15	2	1	93.30
	札幌はまなす	4	19	19	0	4	94.74
	札幌北	3	43	41	-2	5	92.86
	札幌モーニング	3	51	50	-1	0	71.08
	札幌幌西	4	58	56	-2	4	90.22
	札幌西北	4	40	38	-2	5	93.90
	札幌手稲	3	33	36	3	2	92.59
小計		359	380	21	21	90.50	
5	札幌東	4	118	120	2	0	97.19
	札幌清田	4	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	3	61	64	3	0	99.40
	札幌真駒内	3	31	29	-2	3	96.47
	札幌南	3	80	77	-3	0	97.04
	札幌大通公園	3	12	12	0	3	76.90
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	70.00
	新札幌	3	28	26	-2	2	89.49
小計		358	356	-2	18	90.81	
6	岩内	4	19	20	1	0	78.84
	倶知安	3	40	40	0	4	73.80
	小樽	4	65	70	5	0	88.67
	小樽南	4	76	76	0	1	84.10
	小樽銭函	4	22	23	1	2	75.00
	蘭越	4	9	9	0	0	83.33
	余市	3	41	40	-1	4	91.00
	小計		272	278	6	11	82.11

12月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,758人(103人)
増加会員数	58人
当月平均出席率	85.70%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.12.31	増減	内女性	
7	千歳	4	57	56	-1	3	77.20
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	81.58
	恵庭	3	35	41	6	2	82.06
	北広島	4	16	16	0	0	87.50
	長沼	3	20	20	0	3	81.70
	由仁	4	11	10	-1	1	92.50
	小計		176	181	5	11	83.76
8	えりも	4	21	21	0	0	90.90
	三石	3	15	15	0	1	91.10
	様似	4	22	23	1	1	76.10
	静内	3	70	75	5	1	85.51
	浦河	4	36	37	1	2	99.32
	小計		164	171	7	5	88.59
9	伊達	4	55	58	3	0	82.75
	室蘭	4	41	44	3	0	79.06
	室蘭東	3	36	40	4	0	71.73
	室蘭北	4	35	38	3	3	100.00
	登別	3	31	31	0	1	87.10
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
	小計		205	218	13	4	84.97
10	函館	4	83	86	3	0	80.99
	函館亀田	4	42	39	-3	2	94.60
	森	4	34	39	5	0	75.00
	七飯	4	17	16	-1	0	70.60
	長万部	3	9	9	0	0	70.30
	函館セントラル	4	31	29	-2	1	64.66
	小計		216	218	2	3	76.03
11	江差	4	18	14	-4	1	80.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	98.06
	函館東	4	43	44	1	4	86.77
	函館北	3	28	28	0	0	90.48
	北斗	4	17	17	0	1	60.00
	松前	2	5	6	1	0	50.00
	小計		166	164	-2	6	77.55
12	白老	4	28	26	-2	0	82.00
	苫小牧	3	48	52	4	2	79.48
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	85.57
	苫小牧北	4	29	29	0	2	93.88
	小計		132	133	1	6	85.23
合計		2,700	2,758	58	103	85.70	



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



渡 邊 恭 久

2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>